

オニユリ

Lilium lancifolium



種名

分類	被子植物単子葉植物綱ユリ科	俗称		生活型	多年草
分布	北海道、本州、四国、九州に分布する。				
形態	鱗形は卵形、径5～8cm。茎は直立し、高さ1～2m。暗紫点がある。葉は披針形～広線形、長さ5～18cm、幅5～15mm、先端は尖り、基部は無柄となる。葉腋に珠芽がある。花は茎頂に総状花序に数個～20個ほどつけ、7～8月に咲き、橙赤色で濃色の斑点がある。花被片は披針形、長さ7～10cm、強く反曲する。果実は普通できない。				
類似種					
生息場所	温帯から亜熱帯の日当たりの良い土手、田の畦、墓地など人里近くに生える。				
繁殖	花期は7～8月に咲き、橙赤色で濃色の斑点がある。花被片は披針形、長さ7～10cm、強く反曲する。果実は普通できない。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック	根は食用となり、栽培していたものが逸出したものと考えられる。				
その他					

引用文献：『世界文化生物大図鑑 植物 単子葉植物』を改変